

# High School Human Rights

( 高校人権教育通信 第 20 号 ) 平成 29 年 ( 2017 年 ) 7 月 20 日



発行 長野県教育委員会事務局 心の支援課

発行人 小松 容 (心の支援課長)

MAIL kokoro@pref.nagano.lg.jp

## 高校人権教育研修・連絡協議会が行われました！

### 高校教育は人権教育を一斉に深く学ぶ最後の場と考えたい

本年度の「高校人権教育研修・連絡協議会」が5月22日(月)に総合教育センター(塩尻市片丘)で開催されました。県内各高校から約100名の人権教育担当の先生方が集まり、高校における人権教育の目的、課題、指導内容及び方法についての研修が行なわれました。

#### ◇ 内 容

- 1 県の方針説明 「学校人権教育の推進について」
- 2 全体講演 講演「みんながつくる みんなの学校  
—すべての子どもの学習権を保障する学校をつくる—」  
講師 木村 泰子 さん
- 3 研 修 会 「デートDVの現状と対応」 講師 柏原 吉野 さん

## 「人権って何？」と子どもに問われたら、どう答えますか？

本年度の全体講演は、大阪市立大空小学校初代校長の木村泰子先生のお話しでした。

『「人権って何？」と子どもに問われたら、どう答えますか？」という木村先生の問いかけから講演は始まりました。

『「人権」という言葉が独り歩きしている、『人権』という言葉を使わずに咀嚼しているか。』と木村先生は語ります。講演を通して、木村先生から示された答えは「正解のない問いを問いつけること。」であり、そのためには「目の前の子どもから学ぼうとすること。」「教えの専門家から学びの専門家へと変わること。」が必要だということでした。

### 不登校「ゼロ」の学校

木村先生によりますと、大空小学校では、全校260人中50人以上が「発達障がい」や「知的障がい」と医師に診断されているそうです。また、「貧困」や「育児放棄」などの現代社会の困難さを抱えた子どもたちも多く在籍しています。しかし、このような子どもたち全員に自分の居場所をつくることで、不登校「ゼロ」の学校をつくることができたと言っていました。

このような学校ができたのは、地域・保護者、更にはボランティアの方々と連携するとともに、教師も気になる子どもの情報を全員で共有し、「チームだからできることがある」と皆で意識して日頃の教育活動を進めた点にあり、さらに、一人の失敗を児童も職員も一緒にやり直すことで「みんなの学び」とし、失敗する大人の姿を見て、子どもたちが「やり直しができる」と思わせることができたからだと言っていました。

## 誰でも通うことのできる学校に

「大空小学校は特別な学校ではなく、誰でも来られる学校です。」という、木村先生の言葉が印象的でした。教師が意識せずに子どもたちを「排除」している現実があることに気づかされました。

「リレーは他人との競争だと考えると足の遅い子は排除されてしまう。そうではなく、自分に勝つことを目指そう。」という取り組みからも、「誰も排除しないで、よりよい結果を出す。」という木村先生の強い思いが伝わってきました。

## 「みんなの学校」を見た高校生の感想は…

映画「みんなの学校」を見た大阪府内高校生についてのお話がありました。

「大空小学校は学力が高いと思う人」という木村先生の問いかけに、「高い」と答えた人は320人中2人、「ふつう」と答えた人が1/5、その他の生徒は「低い」と答えました。

しかし実際は、毎年春に行われる全国学習状況調査の結果によりますと、大空小学校の結果は秋田県より8ポイント高いのだそうです。

高校生がそう答えた背景には、「障がいのある子は同じクラスではなく、違うクラスで学んでいた。」という現実があり、「どう関わったらよいか分からない。」「格下と思っていた。」「自分が面倒を見なければいけないと思っていた。」という意識があったのではないかと木村先生は語ります。

私たち教師は、「暴力を振るうのは悪い。」と子どもたちを指導することが一般的ですが、子どもたちに「暴力を振るう子は悪い子だ。」という意識を植え付けているのではないかという木村先生の言葉にハッとさせられました。

同様に、生徒の成育歴を知らずに「当たり前」を強要し、できない子は叱られるので、周囲から「悪い子」という評価を受けるようになるということも、私たち教師は知らず知らずのうちに行っていることではないでしょうか。

「隠れたカリキュラム」について深く考える、貴重な機会になりました。

## 本年度も高校人権教育通信を よろしくお願いします

心の支援課では、高校人権教育に関する情報提供を目的として、高校人権教育研究委員の先生方のご協力のもと、この通信を発行しています。

「High School Human Rights」をはじめ、「人権教育推進プラン」、「人権教育指導資料集」、「『素敵な学校』づく

りに向けて～High School Human Rights in Nagano（高校人権教育指導ベース資料）」等の各種指導資料は県教育委員会ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kokoro/jinken/gakko/index.html>)

積極的なご活用をお願いします。

(敬称略)

### 今年度の高校人権教育研究委員を紹介します

委員会では各校の取組にお役にたてる情報を『High School Human Rights』を通じてお届けします。お感じになっていることがありましたら、委員の先生や事務局までお知らせ下さい。

五明 和敏	飯田高校(教頭)
藤澤 雅道	総合教育センター(専門主事)
小林 嘉孝	野沢北高校(教諭)
玉本 聡志	松川高校(教諭)
勝山真由美	長野工業高校(養護教諭)